



第 324 号

2003年(平成15年)

11月15日

発行 明治大学
 編集 明治大学広報部
 TEL 03(3296)4083
 E-mail:
 koho@mics.meiji.ac.jp
 東京都千代田区神田駿
 河台1-1 (〒101-8301)

新生「明大祭」

和泉校舎で11月1日〜3日に開催

学内諸事情により、やむなく開催を見合わせてきた学園祭が、新生「明大祭」として4年振りに復活した。

新生「明大祭」は、これまでの「和泉祭」と「駿台祭」を融合・発展させた学園祭として和泉校舎で11月1日から3日まで開催された。4年振りということで、4年生も初めて経験する学園祭は、全てが手探りでゼロからのスタートとなったが、多数のサークルが集まった熱意溢れる実行委員一人ひとりの頑張りで実施され、参加した学生たちの創意やバイタリテイがあふれたものとなった。

明大祭開催中、キャンパス内は多くの学生や家族連れで賑わい、来場者は久しぶりの学園祭を満喫した。



主な内容紹介

- ルイ・シュヴァイツァー氏に名誉博士贈呈……………(2面)
- 就業体験・インターンシップ報告……………(3面)
- 世界のウチナンチュ会議に明大生が参加……………(4面)
- 連合父母会主催「学生交流会」参加報告……………(5面)
- 相談室の窓から……………(6面)
- 大学の散歩道……………(7面)
- 第3回生明祭開催案内……………(8面)

第3回生明祭「粹」

11月22日(土)〜24日(月)開催

(詳細は第8面参照)

生明祭の実施に伴い、生田校舎の授業を次のとおり休講とします。

- ◎11月21日(金) 午後
- ◎11月22日(土) 全日

以上



点

「継続は力なり。」最近
 は短期間で成果をあげ
 ることが求められるケ
 ー
 スが増えてきたが、今でもこの言
 葉の意味は大きい。ノーベル医学
 生理学賞を受賞した利根川進博士
 が、その直接の受賞理由となる成
 果をあげるまで、数多くの失敗を
 重ねたことは有名だ▼孝貞学では、
 1983年以来、長野県小県郡長
 門町鷹山黒耀石採掘鉱山遺跡と長
 野市大室積石塚古墳群で本学は調
 査を実施してきており、新聞の1
 面トップ記事にはならなくとも、
 世界史、日本史の若干の書き換え
 を迫るような成果を挙げつつある。
 20年間の継続の賜物だ▼学問は日々
 の積み重ねであって、これは4年
 間の学部生活でも、継続の重要性
 はかわらない。本学では、前年度
 に学んだことを基礎に、翌年度の
 必修授業に臨めるよう、1〜4年
 間で一連のカリキュラムが組み
 れている▼ところが最近の学生諸君
 のなかには、試験やレポートで1
 回や2回不本意な成績をもらった
 くらいで、授業に出てこなくなっ
 たり、あるいは後期末試験を欠席
 してしまったりする学生もいる。
 大学生活で問われるのは、4年間
 の努力の結晶としての卒業論文で
 ある。だから、一度や二度の失敗
 など微々たるものなのに、残念極
 まりない▼このような諦めの早い
 学生がもし仮に卒業できたとして
 も、彼らは社会で生きていけるだ
 ろうか。最近では、折角就職しても
 長続きしない若者が多いと聞く。
 そうならないよう、成果だけでは
 なく、そこにいたるまでの長いブ
 ロセスを大事にするような大学環
 境を目指したい。

ルノー会長兼CEO ルイ・シュヴァイツァー氏に名誉博士の学位を贈呈



名誉博士学位贈呈後、講演を行うルイ・シュヴァイツァー氏

明治大学は、11月23日(木)、日本とフランスとの学術・文化国際交流事業の展開にあたっての多大な功績を称え、ルノー会長兼CEOのルイ・シュヴァイツァー氏に名誉博士の学位を贈呈した。

贈呈式は、駿河台校舎リパティタワーリパティホールで大学役員・役職者、ルノー社・ルノー財団関係者、フランス大使館関係者、外務省関係者、パリ国際MBAプログラム協定大学関係者など300余名が列席して執り行われた。

山田学長が式辞及び顕彰の言葉を述べ、名誉博士の学位記と学位賞を贈呈した後、栗田総長とベルナルド・ドゥ・モンフェラン駐日フランス大使からお祝いの言葉が述べられた。ルイ・シュヴァイツァー氏から謝辞があり、その後講演が行われた。

なお、明治大学が贈った名誉博士の学位は同氏で19人目となった。

ルノー財団と明治大学

ルノー社は、2001年に国際的な学術・文化交流の推進を図る目的でルノー財団を設立し、フランス及び諸外国における大学の連携形成に協力するための活動を開始しました。

明治大学は、ルノー財団がパリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学及びパリ第9ドフィーヌ大学と共同で創設した「パリ国際MBAプログラム」に協定大学として参加しています。これは、高度な専門職業資格としての「パリ国際MBA」の学位取得を目的とした、ヨーロッパにおける企業研修を含む実践的かつ多文化的な大学院教育プログラムです。すでに本学からは、その第1期生と第2期生を派遣しており、続く第3期生の選考を予定しています。かつて本学の創立者が学んだパリ大学との提携が実現したことは、本学の建学の理念の発揚につながる大変意義のあることと言えます。

ルイ・シュヴァイツァー氏が、ルノーの最高責任者として、高度な学術・文化交流事業の促進にイニシアチブを発揮し、その活動の充実に貢献していることは高く評価されています。また、これらの活動は、国レベルにおける日仏友好親善という面からも極めて有益な取組みとして評価されるものと考えます。

ルイ・シュヴァイツァー氏に対し、明治大学名誉博士学位を贈呈

顕彰の言葉

明治大学長 山田雄一

本日ここに、フランスのルノー会長兼CEO、ルイ・シュヴァイツァー氏をお迎えし、明治大学名誉博士の学位贈呈式を執り行うことができ、これは、明治大学にとりまして極めて光栄なことであり、全学を挙げて心よりの喜びとするところであります。

シュヴァイツァー氏は、1986年ルノーの役員に就任して以来今日にいたるまで一貫してその経営の中核に参画してこられ、さらに2003年には欧州自動車工業会の会長に選ばれるなどヨーロッパ自動車業界の重鎮として常に活躍をつづけ、卓越した企業指導者として高く評価されておいでになります。

ルノーは、2001年、国際的な学術・文化交流の振興を目的に、ルノー財団を設立されました。企業及び大学相互間の連携形成と人材育成に貢献するた

め、さまざまな活動が、この財団を拠点として展開されています。そのひとつに「パリ国際MBA」があります。明治大学も参画するこのプログラムは、同財団が、パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学及びパリ第9ドフィーヌ大学と共同で実施しているものです。両大学連名で授与される専門職学位の取得を目指して、企業研修を含む高度で実践的なカリキュラムによるヨーロッパ型経営学を、本学の学生もここで学んでおります。さらに同財団は、現在エンジニアリングの分野を対象とした「パリテック・プログラム」を準備中であることが伝えられています。

これらルノー財団による教育事業は、高度な専門職業能力の育成を軸にしつつ、多文化的な国際理解にもとづく文化的アイデンティティの強化を趣旨としている点に、その特徴があるといえます。21世紀の新たな時代の要請に積極的に応えようとするものであり、その学術的価値は大いに評価されると

できます。これは、明治大学にとって名誉なことであると同時に、これが明治大学の学術交流活動の更なる発展と日本とフランス両国間の友好親善関係に大きく寄与するものであることを確信します。

ルイ・シュヴァイツァー氏略歴

1942年7月8日、スイスのジュネーブに生れる。パリ政治学院、国立行政学院というフランスにおける最高の高等教育機関を卒業後、財務検査官として行政官の道に進む。

1981年、ミッテラン政権下で財務大臣に就任したロラン・ファビウス氏(その後産業大臣、首相を歴任)の政策スタッフに加わり、同氏の下で国家財政に関する政策立案に参画する。

1986年、当時、民営化前のフランス国有会社であったルノー社に迎えられてからは役員として同社の経営を担い、1990年に社長兼COOに就任、1992年からは会長兼CEOに就任し、ルノー社の民営化を実現し、現在に到る。また、今年から欧州自動車工業会の会長に選ばれたこと、レジオンドヌール勲章オフィシエ及びフランス国家功労賞コマンドゥール受賞

このことは、「権利自由・独立自治」を建学の理念とし、1881年、パリ大学留学から帰国した若き二人に更に一人を加え、岸本宮城・矢代3氏によりフランス法の学び舎として創設された歴史をもつ明治大学にとっては、その建学精神と深くつながるところであると考えられます。それにくわえて、かつて創立者が学んだパリ大学との連携を実現できたことは、建学精神の発揚においても、まことに喜ばしいことであります。

以上のように、シュヴァイツァー氏は、その強力なイニシアチブとリーダーシップによって、学術・文化国際交流の促進に多大の貢献をなされました。同氏のこうした功績を顕彰することは、たんに本学にとっての榮譽であるだけでなく、日仏両国の友好親善のための真摯な取組として、フランス全体に対する明治大学からの榮譽の贈呈たる意義をも持ち得るものであることを確信いたしております。

このようにして、わが国及び明治大学にとってのもっとも親密な関係を有するフランスにおいて、その最有力企業たるルノーの優れた指導者であるとともに、国家的にも指導的立場にあられるルイ・シュヴァイツァー氏に、名誉博士の学位を贈呈いたしますことは、まことに本学の誇りであり、これを機に、ルノーと明治大学との連帯がますます強化され、またそのことを通じて、日仏両国間の相互理解と親善が、いよいよ促進されることを祈念しまして顕彰の言葉とさせていただきます。

インターンシップは、学生が在学中に就業体験を行い、学習意欲の向上、職業意識の形成、責任感・自立心の確立などを目的に設けられた制度。今年も夏期休暇を中心に実施され、参加した学生は多くの成果をあげた。

今回は、商学部でゼミナールでインターンシップに参加した学生の就業体験と受け入れ先からのコメント、経営学部のNPOインターンシップ実習に参加した学生から就業体験を報告してもらった。

就業体験

インターンシップ報告

議員インターンシップ

商学部3年 稲川 浩太



この夏、商学部の水野勝之ゼミナールのゼミ・インターンシップとして議員インターンシップを経験しました。ゼミでは浦安市役所への提言活動を行っているので、その研究の一環として行くことになりました。

受け入れてくださったのは浦安市議会議員の醍醐誠一氏です。明治大学で初めての議員インターンシップだったので、当初どのような活動をするのか分からず、不安もありましたが、無事終えることが出来ました。

今回の議員インターンシップの主な内容は、一言で言えば、市議会での一般質問案を考えるというものでした。まず6月の浦安市議会を傍聴し、議会でどのような内容の質疑応答がなされているのかを勉強しました。そして7月に入り、醍醐氏に浦安の各施設を案内していただき、一般質問案を考える材料としました。一般質問案の提出期限の8月中旬までに、他のゼミ生の協力も得、どうにか自分なりの案を考えることができ、醍醐氏に検討していただけるまでになりました。

この夏、商学部の水野勝之ゼミナールのゼミ・インターンシップとして議員インターンシップを経験しました。ゼミでは浦安市役所への提言活動を行っているので、その研究の一環として行くことになりました。受け入れてくださったのは浦安市議会議員の醍醐誠一氏です。明治大学で初めての議員インターンシップだったので、当初どのような活動をするのか分からず、不安もありましたが、無事終えることが出来ました。今回の議員インターンシップの主な内容は、一言で言えば、市議会での一般質問案を考えるというものでした。まず6月の浦安市議会を傍聴し、議会でどのような内容の質疑応答がなされているのかを勉強しました。そして7月に入り、醍醐氏に浦安の各施設を案内していただき、一般質問案を考える材料としました。一般質問案の提出期限の8月中旬までに、他のゼミ生の協力も得、どうにか自分なりの案を考えることができ、醍醐氏に検討していただけるまでになりました。期間中は、議員の仕事内容を教えていただき、また松崎秀樹浦安市長とお話する機会も得、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。醍醐氏は毎日多くの人と会

われ、様々な相談などを受けておられました。私が普段気付かないところで困っている人がいることを知り、自分の考え方が少しは成長したような気がします。議会の傍聴、一般質問の立案など、このインターンシップを通して、日頃なじみの薄い政治家の活動に触れられて、政治への関心が高まり、将来の職業選択の幅を広げられたように思います。

千葉県浦安市議会議員 醍醐 誠一氏

水野教授より議員インターンシップの依頼を受け、稲川君と山崎君が私の事務所へやって来ました。2人には、議員の仕事の一つに行政当局へ行く一般質問があることを説明し、浦安市民、そして議員の視点に立って一般質問のテーマを考えるよう課題を与えました。その後、2人はそれぞれが浦安を調査し、勉強をし、課題に取り組みました。2人が見つけたテーマは、教育問題と福祉問題、そして交通問題でした。このことは早速、9月の定例議会で採り上げることになりました。

経験は財産

経営学部2年 菅山 知恵



「アフリカ文庫」講演会開催のお知らせ

テーマ 「Africa today
—ガーナの女性医師が語る
AIDS, ODA, etc.」
講演者 Irene Ayi(アイリーン・アイ)
ガーナ共和国野口英世記念研究所
所研究員・医師
日時 11月25日(火)
14時~15時30分
場所 明治大学中央図書館 B1 多目的
ホール
入場無料・通訳付き
主催 明治大学図書館・アフリカ文庫
選定委員会
問い合わせ 図書館庶務課
TEL 03-3296-4243

私はNPOサポートセンターでインターンシップ実習をさせていただきました。私がインターンシップに参加した動機は、大学で学んでいるNPOを実践の現場で学び、職業選択の幅を広げたいという希望があったからです。そして学生時代に社会で就業体験ができるという大きなチャンスを最大限に活かそうと実習に臨みました。

私の実習先のNPOサポートセンターは、市民活動団体をサポートする全国の中間支援組織です。情報化支援、人材育成、事業化支援、政策提言という4つの柱を基盤に多岐に渡る活動を行っています。今回の実習では団体の活動にかかわる6つの仕事をさせていただきました。

その中でも最も印象に残っている仕事は情報交流サロンの企画・運営です。講師の方のアポ取りからイベント当日の運営に至るまですべての仕事を任せられ、最後まで責任を持って仕事を行うことの大切さを学び、またイベント開催という一連の大きな仕事を経験することができ、とてもやりがいのあるものでした。

実習のすべての仕事を通じて、机上の学習では得られない多くの事柄を学びました。私が実習で強く感じたことは、どんな仕事にも目的意識と責任を持って行うことの大切さです。自分がしている仕事によって何を得ようとしているのか、ということを考えて仕事をを行うことで社会における自分や

事役を知ることができました。また、社会や相手の立場を最ながら自分の果たすべき責任を最後までやり遂げることの大切さを学びました。そして何よりもこの実習を通じての様々な人や仕事との出会いによって、自分自身や将来を考える上で視野が大きく広がりました。実習で得たものを自分の中でどう捉え、今後に方向付けしていくかを考えることによって自分自身を再発見することができました。

インターンシップという経験によって得た大きな財産を生かしながら、今後、大学または学外で様々なことにチャレンジしてさらに経験を積み、自分自身を築いていきたいと思えます。

「第1回世界のウチナンチュ会議」に 明大生が参加

9月1・2日、ハワイ・ホノルルで、世界の沖縄系移民が初めて海外で集い、文化や経済など幅広い分野で話し合う「第1回世界のウチナンチュ会議」が開催された。この会議の学生の部「異文化交流―ユースプログラム」には、明治大学から政治経済学部山内健治助教授のゼミ生が参加し、国際交流と教育、アイデンティティなどについて活発な議論を行い、また交流を深めた。

以下に、参加報告をもらった。

「第1回世界のウチナンチュ会議」に参加してーハワイ報告

私は現在、政治経済学部山内健治助教授の指導のもとで社会人類学を学び、ハワイの沖縄系の人々(ウチナンチュ)のコミュニティについて研究している。ハワイへ最初の沖縄系移民が渡ってから100年が過ぎ、ウチナンチュは四世五世にまで世代を重ね、現在、ハワイで特徴的なコミュニティとなっている。彼らにとって毎年最大のイベントが今年の8月30・31日に行われた沖縄フェスティバルである。

また今年は世界のウチナンチュが一堂に顔を揃える第1回世界のウチナンチュ会議が9月1・2日に合わせて開催された。私はゼミ生とともに、それらの行事に参加した。

8月29日にシェラトン・ワイキ

キ・ホテル中庭で前夜祭が開かれた。州知事リンダ・リングルや米上院議員ダニエル・井上など多くの著名人が出席したこの盛大なパーティで、私は世界各地から集まった彼らと交流し、彼らの絆の深さを感じることができた。

沖縄フェスティバルは、ワイキキのカラカウア大通りを沖縄一色に染めるパレードから始まった。私たちはパレードに参加し、会場となるカピオラニ公園を目指した。今年で21回目を迎えるこの祭りは、毎年6万人以上の人が集まる大規模な祭りである。村人会を中心に様々な沖縄料理が販売され、野外ステージでは琉球民謡や琉球舞踊が繰り広げられる。また沖縄文化の紹介や展示も行われていた。

私たちはその中で自分たちの系図やルーツについて勉強し紹介している「ハワイ沖縄系協会」にボランティアとして参加した。一世の出身村を見つけて喜ぶ若い四世や、両親の移民記録を見て涙を流す二世の姿は感動的であり、そして移民してハワイという土地で世代を重ねてきたウチナンチュの姿を垣間見ることができた。

ハワイ大学に隣接する東西センター(連邦政府研究所)の国際会議場で開かれた世界ウチナンチュ会議では21もの分科会があり、沖縄県知事稲嶺恵一氏や前沖縄担当大臣尾身幸次氏などの著名人やビジネス関係者、研究者、そして学生など多くの人々が南米、欧州、

アジア諸国から集まった。

学生会議の部では明治大学をはじめ、ハワイ大学、琉球大学などを中心に多様な文化背景をもつ学生により、アイデンティティに関する率直な意見交換がかわされた。会議の最後には国境を越えて私たちはみな仲間になった。世界のウチナンチュが集まったこの会議は、貴重な体験であったといえる。

自ら調査地に入り、そこに住む人々と関わり合いながら、彼らの生活や文化を理解することはとても重要なことである。一連の行事に参加したことは、私が研究を進めるにあたって、とても価値あるものになった。またゼミ生にとっても、観光とは違った新たなハワイの側面を見ることができた有意義な合宿だったのではないだろうか。そして、移民文化を媒介とした異文化交流あるいはネットワークづくりの可能性を感じてきた。

(大学院政治経済学研究科政治学専攻 博士前期課程1年 川和清太郎)



オープン・プリンターサービスのお知らせ

（株）明大サポートでは、9月22日よりオープン・プリンターサービスを開始しました。すでにご利用になった方もいらっしゃると思いますが、あらためてシステムの概要とサービス利用の手順を、お知らせいたします。
※詳細については、「オープンプリンターのご案内」ホームページ(URL:[http://www.kisc/meiji.ac.jp/~mshd/opnprt/](http://www.kisc.meiji.ac.jp/~mshd/opnprt/))をご覧ください。

◎概要

- * オープン・プリンターサービスは、明治大学総合情報ネットワーク(MIND)に接続されたノートパソコン等(以下「利用パソコン」)からの印刷出力に対応した、プリントアウトシステム・設備の提供サービス(有料)です。
- * Microsoft Windowsで印刷実行可能なアプリケーション・ファイルタイプのドキュメント印刷に対応しています。※UNIX・MacOS機からの出力は出来ません。
- * システム利用においては、事前に利用パソコンへの専用ソフト(無料)をインストールすることが必要です。

◎サービス利用の手順

- 1 利用パソコンをネットワーク(MIND)に接続した状態で、パソコンのアプリケーション上(Word/Excel等)から印刷操作を行います。その際、出力先(プリンター名)として本システム用プリンター名を選択します。
- 2 印刷データはネットワークを通じて送信されますが、直接プリンターからは出力されず、一旦システム用サーバに保存されます。
 - 印刷データをサーバへ送信するためには、MINDネットワーク回線に接続していることが必須です。このため、自宅等の学外から利用する場合にはPPP・VPNによるMINDへの接続が条件となります。
 - サーバに保存された印刷データは、24時間経過後に自動的に削除されます。
- 3 その後、実際に印刷を行う際には、学内各所に配備された本システムプリンター設備から、出力操作を行います。この操作によって“2”で保存された印刷データがサーバから取り出されて印刷されます。
 - 印刷時には、印刷数量に応じた料金の精算が必要になります。清算においては、学内設置コピー機用プリペイドカードが使用できます。印刷単価は、学内設置コピー機印刷料金と同額です。

◎専用ソフトとは

* 「オープン・プリンター」システムを利用して印刷データをサーバに送信するためには以下の2種類のソフトウェアを、事前に利用パソコンへインストールする必要があります。

- プリンタードライバ
- クライアントソフト

◎専用ソフトの入手方法

* 専用ソフトは、前記の「オープン・プリンターのご案内」ホームページにて公開されています(但し、ダウンロードのためにはMINDネットワーク回線に接続していることが必要)。
☆こんなときにご利用ください。

- プリンターを、持っていない。
 - 学内で急なプリントアウトが必要になった。
 - 白黒印刷ではなく、カラーで印刷したい。
 - プリントアウトした部数が足りなくなった。
- 等々
☆オープン・プリンターをご利用の上でお困りの際は、(株)明大サポートの各地区パソコンヘルプデスクが対応いたします。(ホームページ URL:<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~mshd/>)
どうぞご利用ください。

いま、こんな本が売られています!

駿河台・和泉・生田

校舎別書籍販売ベスト5

《2003年7月～9月実績》

●駿河台校舎(三省堂書店/12号館B2)

順位	書名	出版社	本体価格
1	法科大学院適性試験 パターン別問題集	東京リーガル マインド	1800円
2	ポケット六法	有斐閣	1500円
3	世界の中心で愛をさけぶ	小学館	1400円
4	法学検定試験2級法学 既習者試験ガイドブック	商事法務	2600円
5	質問力	筑摩書房	1200円

●和泉校舎(三省堂書店/厚生会館2F)

順位	書名	出版社	本体価格
1	親族・相続	弘文堂	2750円
2	バカの壁	新潮社	680円
3	大学生のためのレポート・ 論文術	講談社	680円
4	経済学入門塾1<マクロ編>	中央経済社	2300円
5	商法1	弘文堂	3200円

●生田校舎(丸善ブックセンター/部室センター1F)

順位	書名	出版社	本体価格
1	バカの壁	新潮新書	680円
2	“It”と呼ばれた子 少年期	Virege Books	700円
3	“It”と呼ばれた子 幼年期	Virege Books	650円
4	TOEICテスト スーパー模試600問	アルク	2200円
5	TOEICテスト徹底練習 500題 リーディング編	三修社	2400円

(株)明大サポート調べ

明治大学連合父母会主催 学生交流会に参加して

経営学部4年・遠藤 浩輝



愛知・三重・岐阜・静岡各県の出身者による明治大学学生交流会が、10月18日(土)、駿河台校舎大会館とリビティタワー23階岸本記念ホールで、学生216人、大学・父母会役員75人合わせて291人が参加して行われました。

第一部は、早稲田大学大学院教授で、前三重県知事の北川正恭氏の「地域の自立とマニフェスト」と題した講演がありました。北川教授は、「マニフェストは政権公約と訳されているが、政策に期限・予算・数値目標が明記された工程表がなければならぬ。これまでの口約束の公約ではない。選出された側も政策を達成したかどうかの選挙の基準となる」と明解しました。

第二部は、リビティタワー23階の岸本記念ホールに会場を移し懇親会が開かれました。

ジュースとウーロン茶で乾杯した後、懇親に移り参加者全員の一言インタビューやチャリダーの演技、応援団のリードによる全員が肩を組みあつての校歌斉唱がありました。

懇談中、山田学長に直接声をかけられ、話を伺う機会に恵まれました。同郷、それも静岡県と同じ地域とお伺いし、同郷という言葉の持つ不思議な雰囲気を感じました。私にとって意義深い交流会でした。

ビッグサウンドズサエティ・オーケストラ

ビッグサウンドズサエティ・オーケストラ(以下BS)は、軽音楽クラブ内のジャズ・ビッグバンドとして、1996年に活動を始め、1989年にクラブから独立しました。クラブOB会である「楽友会」の会員は、現在900名余にのびります。

BSは、現在部員約45名。その内18名(サキソフォン5/トランペット5/トロンボーン4/ウッドバス/ピアノ/ドラム/ギター)がレギュラー・バンドとして、残りのメンバーはジュニア・バンドとして活動しています。ジュニア・バンドのメンバーが、レギュラー・バンドのメンバーになるためのステップとして、週に1度か2度、生田校舎でロボットの製作を行っています。また、大会等が近くなれば毎日のように活動します。

ロボットの製作というと、一見難しいことをしているように思われますが、それほど難しくもなく、やる気さえあれば誰にでも可能なことで、自分たちもサークルを始めるまでは初心者でも活動します。

ロボティックシステムズは、設立2年目の若いサークルです。主な活動内容は、ロボットの製作およびプログラミングによるロボットの制御です。

普段の活動としては、週に1度か2度、生田校舎でロボットの製作を行っています。また、大会等が近くなれば毎日のように活動します。

ロボットの製作というと、一見難しいことをしているように思われますが、それほど難しくもなく、やる気さえあれば誰にでも可能なことで、自分たちもサークルを始めるまでは初心者でも活動します。

ンバーになるためにオーディション制が採用されています。

主な活動としては、毎年3月に行われるリサイタルや8月に行われる学生ビッグバンドの頂点を決める山野楽器主催のヤマノビッグバンドジャズコンテストへの参加の他、自校・他校への学園祭の参加・営業活動等があります。

最近の主な実績としては、今年度のヤマノビッグバンドジャズコンテストにおいて4年連続最優秀賞、太田市ビッグバンドジャズコンテスト3年連続優勝、早慶明大学対抗ジャズフェスティバル連続優勝をはじめ数々の賞を受賞しています。他にも個人賞として最優秀ソリスト賞や優秀ソリスト賞受賞者を輩出しています。

ライブも多数行っています。5月には世界的なトランペッターであるサル・クラキオーロ氏を招いてのライブを、7月にはOBバンドとの合同ライブを、9月には他大学のバンドと合同の大規模なコンサートを行いました。他にも岩手県で開催されたひよっこりジャズ祭への出演など多彩な演奏活動を行っています。

これからも多数の演奏会を予定しています。11月には京都で京都大学との共同ライブを行い、12月には太田市ビッグバンドジャズコンテストに出場します。そして年度末には一年間の活動の集大成を開始し、8月初旬に野尻湖で他大学と合同で製作合宿を行い、8月23日・24日に行われた大会に参加し、見事優勝しました。

そして、今はライントレーサーという白い路面に描かれた黒い線をたどっていくロボットの製作講習会を実施しており、冬には部員それぞれが製作したロボットでサークル内の大会を行う予定です。また、春からは来年のクルーレス・ソーラーボート大会に向けての製作活動を開始する予定です。

構成メンバーは、現在20人で、みんなで楽しくロボットの製作活動をしています。この記事を読まぜ一度活動を見に来てください。

サークル紹介

ロボティックシステムズは、設立2年目の若いサークルです。主な活動内容は、ロボットの製作およびプログラミングによるロボットの制御です。

普段の活動としては、週に1度か2度、生田校舎でロボットの製作を行っています。また、大会等が近くなれば毎日のように活動します。

ロボットの製作というと、一見難しいことをしているように思われますが、それほど難しくもなく、やる気さえあれば誰にでも可能なことで、自分たちもサークルを始めるまでは初心者でも活動します。

ロボティックシステムズは、設立2年目の若いサークルです。主な活動内容は、ロボットの製作およびプログラミングによるロボットの制御です。

普段の活動としては、週に1度か2度、生田校舎でロボットの製作を行っています。また、大会等が近くなれば毎日のように活動します。

ロボットの製作というと、一見難しいことをしているように思われますが、それほど難しくもなく、やる気さえあれば誰にでも可能なことで、自分たちもサークルを始めるまでは初心者でも活動します。

ロボティックシステムズ

ロボティックシステムズは、設立2年目の若いサークルです。主な活動内容は、ロボットの製作およびプログラミングによるロボットの制御です。

普段の活動としては、週に1度か2度、生田校舎でロボットの製作を行っています。また、大会等が近くなれば毎日のように活動します。

ロボットの製作というと、一見難しいことをしているように思われますが、それほど難しくもなく、やる気さえあれば誰にでも可能なことで、自分たちもサークルを始めるまでは初心者でも活動します。

ロボティックシステムズは、設立2年目の若いサークルです。主な活動内容は、ロボットの製作およびプログラミングによるロボットの制御です。

普段の活動としては、週に1度か2度、生田校舎でロボットの製作を行っています。また、大会等が近くなれば毎日のように活動します。

ロボットの製作というと、一見難しいことをしているように思われますが、それほど難しくもなく、やる気さえあれば誰にでも可能なことで、自分たちもサークルを始めるまでは初心者でも活動します。



バンド演奏風景



琵琶湖クルーレス大会にて

幹事長・高木美緒(法学部3年)

幹事長・山本真裕(理工学部2年)

相談室の窓から

美濃部 仁
(相談員・商学部助教授)

相談室を訪れる人は、たいてい一人でやってきます。一人でやってきて私と一対一で対話し、帰ってゆきます。大教室で授業をすることの多い私は、その姿を見ながらいろいろ考えさせられます。

学生諸君は知らないかもしれないけれども、たとえ大教室であっても、教壇から聴講者一人一人の顔はよく見えます。だから、講義のクライマックス(と思っ

相談室と大教室

という悩みは、教員である以上、引き受けざるを得ないものであらうと思っています。ただ時折、それとは違った感じがして途惑うことがあります。それは、たとえて言えば、聴講している人たちがテレビを見ているような顔をしているといった感じと

テレビ番組でアナウンサーが「こんにちは」と言って頭を下げて、視聴者が一緒に頭を下げることは稀であらうと思います。自分が必要な情報が手に入ればテレビを消してしまうということも普通におこなわれていると思います。

待するものを提供するという性質をもっています。期待に反するものが現われた場合には、視聴者はチャンネルを変えます。テレビは視聴者が自分のために使うものです。そしてその際、どのように使うかの尺度

何かを学ぶということは自分の視野を広げることです。が、視野を広げるといことは、原理的に、自分でできることではありません。未知なる物との出会いがあつてはじめて視野は広がります。そして、未知なる物と出会うためには、自分の尺度で物を見ることをいったんやめる必要があります。

講義は、本来未知なる物との出会いの場であるべきです。聴講者だけでなく、講義をしている者にとってもそうです。それをテレビ番組と同じようにしてしまうのはもったいないことです。講義を本来の姿でおこなうのは、とくに大教室ではかなり難しいことですが、結局一対一の対話が基礎になるのだらう

思います。

政治経済学部ゼミナール協議会主催

「講演会」のお知らせ

原点を見つめ直してみませんか？

この度、政経ゼミ協では「明治大学の軌跡発見」のもと、1969年に明治大学を卒業した「三遊亭小遊三」氏をお招きして講演会を開催します。

大学時代の思い出や、学生だからできることなど、明治大学で過ごされた当時の経験を講演していただき、在学生や卒業生の皆様に明治大学の歴史を感じていただきたく思います。皆様お誘いの上、奮ってご参加下さい。よろしく願いいたします。

▽11月21日(金)

※場所：駿河台校舎リパティタワー1Fリパティホール

※時間：【開場】18時00分、

【開演】18時30分～20時00分(終了予定)

※予約不要・参加費無料

※問い合わせ

政治経済学部事務室(電話：03-3296-4171)まで

文学部文学科演劇学専攻公演 2003 冬

『HAMLET』

「消すな！演劇学専攻に花開いた舞台の夢」

演劇学専攻初の主催公演「くたばれハムレット」を経て、多くの学生に、あるいは演劇学専攻を取り巻く多くの方々に、私達が「演劇のよき理解者」であらうという時に、実践の可能性を示すことが出来ました。それはある種の突破口であり、そこに続く新しい演劇探求の道、明治大学で学ぶ演劇の新しい形への入り口なのです。

この公演をきっかけに多くの人が演劇について考えるようになったことは大きな財産となりました。そしてこの種を枯らさぬように、冬公演として2回目の上演をすることになりました。

今回は実際に舞台に触れる人間を多くすることで、将来に役立てられればと考えました。これは前回の「くたばれハムレット」では出来なかった点です。

この目標をクリアーし、かつ充実した公演にするため、今回は、授業でも取り上げられている演劇の巨人、シェークスピアの「ハムレット」に行き着いたのです。

▼主催＝文学部文学科演劇学専攻(主任教授：佐藤正紀先生)

▼日時＝11月29日(土)17時開演

30日(日)12時開演、16時30分開演

▼場所＝和泉校舎第2校舎6番特設会場

▼演出＝多和田真太良

▼入場料＝無料、ただしカンパ制

▼問い合わせ＝メール：hamlet@25cent.net、TEL：090-4228-6902(制作・斎藤)

演奏会だより

☆三曲研究部定期演奏会☆

日時＝11月21日(金)

13時30分開場、14時開演

会場＝江東区亀戸文化センター

カメラアホール

JR総武線亀戸駅下車徒歩5分

入場料＝無料

▼曲目＝「六段の調べ」「新娘道成寺」「残月」

分

☆明治大学マンドリン倶楽部クリスマスコンサート 2003 ☆

日時＝12月20日(土)

17時30分開場、18時開演

会場＝よみうりホール

JR山手線有楽町駅下車

▼曲目＝第一部クリスマス特集(ホワイトクリスマス、戦場のメリークリスマス 他)

第二部2003総集編シエルブルーの雨傘、クマナ(他)

チケット＝全席自由2000円(学生席5000円、学生証提示、11月25日(火)発売予定)

▼問い合わせ＝090-0801-86466(平日13時～17時)



伝統音楽の調べ

☆明治大学交響楽団 第80回記念定期演奏会☆

日時＝12月27日(土)

18時開場、18時30分開演

会場＝すみだトリフォニーホール

JR総武線錦糸町駅下車徒歩3分、地下鉄半蔵門線錦糸町駅下車徒歩5分

指揮者＝岡田司

▼曲目＝交響曲第2番、歌劇「アルルの女」より抜粋、歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲

▼入場料＝全席自由8000円(当日券あり)

▼問い合わせ＝E-mail:meioke_koho@hotmail.com

▼問い合わせ＝090-0914-16242

▼入場料＝全席自由5000円

▼曲目＝シンフォニックステージ「サウンドバリアー」「エル・カミノ・レアル」他、ドリルステージ

▼入場料＝全席自由5000円

▼問い合わせ＝090-0914-16242

▼入場料＝全席自由5000円

▼問い合わせ＝090-0914-16242

▼問い合わせ＝090-0914-16242



権利自由 獨立自治 (三木武夫元内閣総理大臣揮毫)

大学史の散歩道

大学史資料センター委員

別府 昭郎 (文学部教授)

「権利自由獨立自治」の意味内容

皆さんは、「権利自由 獨立自治」という言葉の本来の意味を知っているであろうか。大学歌の二番に「権利自由の揺籃の 歴史は古く今もなお、獨立自治の旗幟し、高き理想の道を行く……」とありますから、「権利自由獨立自治」という言葉には慣れ親しんでいることでしょう。これは、中江兆民の思想や自由民権運動の潮流と深く繋がっていることは間違いありません。

では、「権利自由獨立自治」の意味するところは、何でしょうか。考えてみましょう。

①「各自の権利自由」という語は「明治法律学校設立ノ趣旨」にあります。初代校長岸本辰雄は、とりわけ明治三年ごろから「社会ハ権利ノ戦場ニシテ人類ハ日常權利ノ戦闘ニ服スルモノト云フヲ得ヘシ」という命題をさかんに唱えるようになりま

す。それと同時に、「義務ノ觀念」ということも強調しはじめます。すなわち、権利と義務は対概念であることを十分に意識したうえで、権利を強く押し出しているのです。その理由は、日本人は上からの命令には服従するように慣らされてきたので、この時代は権利を強調すべき時であるという判断があったからです。

②「自由」についてはどうでしょうか。自由とは、「人および市民の権利宣言」(一七八九年)によりますと、「他人を害しないすべからざることをなすこと」に存します。岸本は自由について、商法の講義の中で、「營業ハ競争ニ因リテ進歩ヲ來タシ社会ヲ益スルモノナルニ他ノ營業者ヲシテ其營業權ヲ止メシムル如キハ其競争ノ途ヲ杜キ公益ヲ害スルモノト云フヘシ」というので「契約ノ自由」を「大原則」と位置づけています。公権力の「營業ノ自由」に対する介入を排除するということを明言しています。ここでは、政治的自由というよりも、營業の自由で代表される市民的自由が意識されているように思えます。

③明治三五年以降は、明治法律学校が「専門学校令」によって大学と称することができるようになったことを意識して、「学問の獨立」や「獨立の精神」についての主張

が多くなってきました。「学問の獨立」とは、学問の国家からの獨立を意味し、それは私学ではじめて可能になることを強調しています。「獨立の精神」については、「私立学校は一大獨立心によって設立されたものであるから、何人の干渉も受けまいし、何人にも服従する義務もない」という趣旨を述べています。私立大学はきちんと獨立の思想、自立自尊の気性を養って

いるから、国家に依拠したり、委付したり、權威をかさに着たりするような人物は輩出しようがないということになりました。

④「自治」という語は、生の形では出てきません。むしろ、「自治自重」という形で、個人の人格形成に関わって使われています。このばあい、上に述べた獨立、自重、自立という意味との関わり合いが強い。つまり、自立した市民、シビルの獲得すべき価値として主張されています。この意味において、現在我々が使っ

ている「大学の自治」、すなわち大学の意思を大学独自で決定し、後継者を選任し、カリキュラムを決め、学長や学部長を選挙で選ぶというような意味では使われていないことに注目しておく必要があります。

以上、権利自由 獨立自治について、岸本辰雄の思想に立脚しつつ述べてきましたが、いかに偉大な思想家の思想にも時代的制約、限界があることは免れません。岸本辰雄は、婦人の権利についてはかなり消極的です。「婦人ニ許スニ獨立人タル權利ヲ以テスルハ聊カ過度ノ進歩ニ非サルナキ歟」と言っています。もちろん、他方で、商法では、婦人について、獨立の商人としての能力を認めるという規定をフランスの法律から紹

介してはいます。つまり、民法においては婦人の権利は認められないが、商法においては認められると言っているのです。

しかし、他方、次世代に生かせる契機を発見するのも思想研究の目的の一つです。では、われわれは、積極的な意味をどう読みとればよいのでしょうか。

「権利自由 獨立自治」と聞くたびに政治的意味を連想しやすのですが、私立大学が国家から強く獨立し、そこで教育を受ける個人の権利、個人の自由、個人の獨立(獨立の精神)、個人の自治自重は、今でも大切なことです。こうした気概を我が大学の創設者

はもっていたという事実には、私たちは学びたいと思います。

災害救援ボランティア講座

- 趣旨・目的**
阪神・淡路大震災や三宅島噴火を教訓に、ボランティア活動の重要性が見直されてきています。このたびは災害時の実践的な防災の基礎知識と応急手当を学び、ボランティア活動のリーダーとしての技能を習得していただくための「災害救援ボランティア講座」を開催いたします。皆様の積極的参加をお待ちしています。
- 講座日程**
11月28日(金) 明治大学リパティタワー1133教室 9:00~17:00
(1)オリエンテーション
(2)専門家による災害ボランティアに関する講義
(3)挨拶 山田雄一 明治大学学長
(4)講演 中野 章 明治大学大学院長・政治経済学部教授
(5)会の組織・登録制度の説明 災害救援ボランティア推進委員会
11月29日(土) 明治大学リパティタワーB3 スポーツホール 9:00~17:00
・応急手当活動(上級救命講習) 東京救急協会
11月30日(日) 本所防災館 9:00~16:30
・消火の基本・初期消火(講義)・災害模擬体験と実技 東京消防庁
※3日間の講座修了者で、成果が確認された者には、委員会よりセーフティリーダー認定証、東京消防庁より上級救命技能認定証がそれぞれ交付される。
- 講座会場** 明治大学駿河台校舎リパティタワー〔東京都千代田区神田駿河台1-1〕本所防災館〔東京都墨田区横川4-6-6〕
- 募集定員** 50名 定員になり次第締切
- 応募資格** 明治大学学生及び一般(原則として東京都在住・在勤・在学の方)
- 受付窓口** 明治大学学生→明治大学教務事務部教務課、和泉教務課、生田教務課
その他の方→財団法人災害救援ボランティア推進委員会
- 参加費** 学生 3,300円(教材費・教科書代・保険代のみ) / 一般 9,900円
- 主催** 財団法人日本法学会/災害救援ボランティア推進委員会
- 申込み及び問合せ先**
明治大学教務事務部教務課(駿河台校舎リパティタワー5階)
TEL 03-3296-4220
災害救援ボランティア推進委員会
TEL 03-3584-4085 <http://www.saigai.or.jp>

明大ニュース

学生交流協定

スポーツ

☆フランス・トゥールーズ第1社会科学大学と学生交流協定締結☆

明大とフランスのトゥールーズ第1社会科学大学は、2002年9月に締結した大学間交流協定に基づいて、今年8月に学生交流協定を締結した。協定期間は大学間協力協定に基づき、5カ年を一期間とするもので、双方の学生交流の実施を積極的に行っていく。

トゥールーズ第1社会科学大学への留学生は、第2および第3大学の科目も履修可能で、明大の理工学部、農学部、文学部の学生の受入れにも対応しており、広範な分野での活発な学生交流が期待される。

立大戦初戦は、打線が爆発し、15長短打をあげせ立大を圧倒。呉本主将(政経4)は2点本塁打を含む3安打4打点の活躍を見せた。2回戦は少ないチャンスを効率よく得点し、投げては岡本(文4)が10安打されながらも完投、勝ち点を3とした。

☆6大野球☆
〜春に続き2位でシーズン終了〜

無敗で迎えた明大は、第5週・立大、第6週・早大、第7週・法大と対戦した。

立大戦初戦は、打線が爆発し、15長短打をあげせ立大を圧倒。呉本主将(政経4)は2点本塁打を含む3安打4打点の活躍を見せた。2回戦は少ないチャンスを効率よく得点し、投げては岡本(文4)が10安打されながらも完投、勝ち点を3とした。

立大戦初戦は、打線が爆発し、15長短打をあげせ立大を圧倒。呉本主将(政経4)は2点本塁打を含む3安打4打点の活躍を見せた。2回戦は少ないチャンスを効率よく得点し、投げては岡本(文4)が10安打されながらも完投、勝ち点を3とした。

学生モニター効果あらわる!

例えば最近キャンパス内の食堂で、嬉しい変化に気づいたことはありませんか。それはもしかしたら、学内や他大学の食堂や購買部の調査見学をしつつ議論を重ねてきた、学生モニターの活動のおかげかも。学生モニターの熱心な活動の成果の一部をご紹介します。

駿河台キャンパスでは、食堂「スカイラウンジ」の一部を営業時間終了後談話室として利用できるようにするために改修に着手しました。

和泉キャンパスでは、食堂「和泉の杜」の2階・3階のメニューが1階でも見られるようになりました。

生田キャンパスの食堂「Hills」では、①カレーの具の増量(にんじん・じゃがいも)、②小盛ライスの定食の提供開始、③ライス大盛分の増量、④フロア(2F・3F)のメニュー構成の見直しによる混雑の平均化等が実施されました。また、⑤食券(回数券)の前売りも今後実施される予定です。

今後も学生モニターの活躍にご期待ください!!

遺失物販売のお知らせ

保管期限切れ拾得物(2002年10月1日~2003年3月末日までに学内で拾得された物)の販売を行いますのでご利用ください。

1. 日程等

	月日	時間	販売会場
駿河台校舎	12月5日(金)	17:00~18:00	リパティタワー6F第4会議室
和泉校舎	12月4日(木)	12:05~12:50	第一校舎1Fラウンジ
生田校舎	12月3日(水)	12:00~13:00	中央校舎1F共通ホール

2. 品目

筆記用具、本、傘、雑貨等

3. 収益金

岸本辰雄記念奨学基金への寄付金として積み立て、学生の皆さんに全額還元します。

※入場・購入の際に、学生証が必要になりますので、持参ください。

※小銭を用意ください。

学生事務部

クしてスタンドを盛り上げた。最終法大戦は、初戦一場が1安打完封の快投劇。2回戦は田中嗣(農3)の満塁本塁打などで圧倒。勝ち点4で日程を終えた。早慶戦の結果によってはプレッシャーも期待されたが、早大が4連覇を達成し、明大は春に続き2位でシーズンを終了した。

☆第80回東京箱根間往復大学駅伝競争予選会☆

最終総合タイム12位で及ばず

10月18日、第80回を記念して、「箱根駅伝予選会」が初めて箱根の地で行われた。午前9時30分、過去最高の37校・400名余の選手が一斉にスタート、16・3kmを走り抜いた。

結果は、1分8秒、一人7秒差の最終総合タイム12位で残念ながら本戦への夢はかなえられなかったが、終了後の選手たちの様子は、昨年までとは異なる雰囲気であっ



力走する幸田選手(左端)

た。今年は100位までにチームトップの幸田高明選手(政経2)をはじめ5人の選手が入り、それにつづく中盤・後方も大きな開きはなく、予選会突破チームに劣らない成績だった。

来年は今年の選手11人が残り、チーム内の競争も激しいことから「2005年正月」は期待できよう。来年の予選会では、77回予選会以来となるスタート最前列に、紫紺に「M」マークのユニフォーム姿が並ぶ。競走部の新たな挑戦

受賞

に、学生・教職員一同、より一層の声援をおくろう。

☆明治高校3年・羽田圭介君が最年少で「文藝賞」受賞☆

新人作家の登竜門となる河出書房主催の第40回「文藝賞」に明治高校3年在学中の羽田圭介君の作品「黒冷水」が選ばれた。

応募総数1862篇の中から、質・量ともに群を抜いていると評価されたもので、17歳最年少受賞は、第38回以来3人目ということもあり、注目を集めている。

10月15日には、山の上ホテルで授賞式が行われた。受賞作品「黒冷水」は、11月下旬に単行本として出版される。羽田君は、2004年4月には明治大学に進学の予定で、今後の活躍が期待される。

第3回生明祭開催!! 11月22日~24日

11月22日(土)から24日(月)まで、生田校舎で第3回生明祭が開催されます。今年は、「粹」をテーマに、以下のようなイベントが予定されています。

テーマ 「粹」

ステージ日程

- 11月22日 * オープニング * Be 夢ライブ
- 11月23日 * 演武会 * ぐるめクイーン
- * お笑いライブ * Mr. 明治
- 11月24日 * 早飲み競争 * ダンス企画
- * 借り物競争 * エンディングパレード
- 全日企画 * WANTED

~お笑いゲスト~

- * ドラックドラゴン * スピードワゴン * CUBE

~講演会出演者~

- * 国立天文台助教授 波部 潤一先生

Calendar

11~12月

- 11月21日(金) 政治経済学部ゼミナール協議会「講演会」(18時~、駿河台校舎リパティホール)
- 11月22日(土) 生明祭(~24日、生田校舎)
- 25日(金) アフリカ文庫講演会(14時~、駿河台校舎中央図書館)
- 28日(金) シンポジウム「これからの明治はどうあるべきか」(12時30分~、駿河台校舎リパティホール)
- 28日(金) 災害救援ボランティア講座(~30日、リパティタワー他)
- 29日(土) 文学部演劇学専攻公演(~30日、和泉校舎)
- 30日(日) ラグビー対抗戦・帝京大戦(14時~、秩父宮)
- 12月7日(日) ラグビー対抗戦・早大戦(14時~、国立)